

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成23年8月11日

【四半期会計期間】 第55期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 菊水化学工業株式会社

【英訳名】 KIKUSUI CHEMICAL INDUSTRIES CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 遠山 真人

【本店の所在の場所】 名古屋市中区丸の内三丁目21番25号清風ビル

【電話番号】 (052)300-2222

【事務連絡者氏名】 管理本部長 稲葉 信彦

【最寄りの連絡場所】 名古屋市中区丸の内三丁目21番25号清風ビル

【電話番号】 (052)300-2222

【事務連絡者氏名】 管理本部長 稲葉 信彦

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第54期	第55期	第54期
		第1四半期 連結累計期間	第1四半期 連結累計期間	第54期
		自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月 30日	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月 30日	自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日
売上高	(千円)	3,486,565	4,225,488	16,658,042
経常利益又は経常損失()	(千円)	7,700	119,639	525,323
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失()	(千円)	23,004	57,977	210,599
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	63,640	33,990	179,032
純資産額	(千円)	6,829,291	7,000,702	7,029,710
総資産額	(千円)	11,801,351	12,782,482	13,715,822
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額()	(円)	2.19	5.53	20.08
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	57.87	54.76	51.25

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第54期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 第54期及び第55期第1四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。また、第54期第1四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額」については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～6月30日)におけるわが国経済において、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による東北を中心とした地震、津波及びその後の余震による被害と原子力発電所事故による電力不足及び放射能による影響は、製造業、非製造業共に国内企業の生産や輸出に大幅なダメージを与えました。また、震災に伴う消費者心理にも消費自粛、風評被害等悪影響を及ぼし景気の現状は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは安全、品質、環境を最優先に掲げた販売体制を整え高付加価値商品の拡販を押し進めると共に需要拡大が望まれる改装市場への取り組みを強化し、「下地から仕上げまで」を販売戦略の要として新規顧客の獲得に向けて積極的な営業活動を展開しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績として、売上高は42億25百万円と前年同四半期と比べて7億38百万円の増収を計上することができました。

利益面におきましては、営業利益は1億11百万円と前年同四半期と比べ1億26百万円の増益、経常利益は1億19百万円と前年同四半期と比べ1億27百万円の増益、四半期純利益は57百万円と前年同四半期と比べ80百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(材売・工事)

材売・工事においては、東日本大震災の被災地域の一日も早い復興に貢献できる様、商品の安定供給に全力を注ぐと共に、ワンストップキャンペーンを通して、住宅・建築関連業者の更なる活性化に向けて、下地から仕上塗材まで完備をいたしました結果、材売・工事の売上高は40億41百万円と前年同四半期と比べて7億41百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億37百万円と前年同四半期と比べ1億65百万円の増益となりました。

(セラミック)

セラミックにおいては、電機、電子部品業界からの受注は堅調に推移しましたが、震災の影響により一部主要顧客で受注が減少しました。さらに前期設備投資による経費等が増加した結果、セラミックの売上高は1億83百万円と前年同四半期と比べて2百万円の減収となり、セグメント利益(営業利益)は25百万円と前年同四半期と比べ38百万円の減益となりました。

(2)財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は127億82百万円(前連結会計年度末比9億33百万円減)となりました。

これは主として現金及び預金が6億85百万円減少、受取手形及び売掛金が3億87百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は57億81百万円(前連結会計年度末比9億4百万円減)となりました。

これは主として支払手形及び買掛金が3億51百万円減少、未払費用が3億11百万円減少、未払法人税等が2億44百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は70億円(前連結会計年度末比29百万円減)となりました。

これは主としてその他有価証券評価差額金が24百万円減少したことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は80百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,000,000
計	34,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,716,954	10,716,954	名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	10,716,954	10,716,954		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		10,716		1,394,100		1,092,160

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 231,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,438,000	10,438	同上
単元未満株式	普通株式 47,954		同上
発行済株式総数	10,716,954		
総株主の議決権		10,438	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式995株が含まれています。

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 菊水化学工業株式会社	名古屋市中区丸の内 三丁目21番25号	231,000		231,000	2.16
計		231,000		231,000	2.16

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,761,102	2,075,913
受取手形及び売掛金	4,969,223	4,581,844
商品及び製品	437,264	524,542
仕掛品	160,439	269,610
原材料及び貯蔵品	256,793	280,213
繰延税金資産	157,920	157,920
その他	212,659	178,994
貸倒引当金	14,286	12,508
流動資産合計	8,941,117	8,056,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	763,392	784,793
機械装置及び運搬具（純額）	171,417	162,201
土地	1,497,931	1,497,931
リース資産（純額）	246,098	235,549
その他（純額）	54,856	38,172
有形固定資産合計	2,733,695	2,718,649
無形固定資産		
のれん	45,711	42,854
その他	54,926	50,547
無形固定資産合計	100,638	93,402
投資その他の資産		
投資有価証券	863,473	827,857
繰延税金資産	291,071	303,097
長期預金	610,000	610,000
その他	175,836	178,998
貸倒引当金	10	6,053
投資その他の資産合計	1,940,371	1,913,899
固定資産合計	4,774,705	4,725,950
資産合計	13,715,822	12,782,482

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,571,883	2,220,115
短期借入金	1,400,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	21,664	88,667
1年内償還予定の社債	228,800	214,400
リース債務	31,181	38,498
未払法人税等	308,498	64,363
その他	909,867	622,820
流動負債合計	5,471,894	4,698,864
固定負債		
社債	171,200	171,200
長期借入金	192,145	118,242
退職給付引当金	494,637	488,061
役員退職慰労引当金	236,130	160,522
その他	120,105	144,889
固定負債合計	1,214,217	1,082,914
負債合計	6,686,111	5,781,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,394,100	1,394,100
資本剰余金	1,092,160	1,092,160
利益剰余金	4,674,340	4,669,407
自己株式	117,132	117,221
株主資本合計	7,043,467	7,038,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,775	39,027
その他の包括利益累計額合計	14,775	39,027
少数株主持分	1,018	1,284
純資産合計	7,029,710	7,000,702
負債純資産合計	13,715,822	12,782,482

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,486,565	4,225,488
売上原価	2,558,899	3,116,056
売上総利益	927,666	1,109,432
販売費及び一般管理費	942,539	997,764
営業利益又は営業損失()	14,872	111,667
営業外収益		
受取利息	1,075	1,724
受取配当金	6,723	7,162
仕入割引	408	2,493
受取ロイヤリティ	1,803	-
その他	5,479	5,517
営業外収益合計	15,490	16,898
営業外費用		
支払利息	5,159	4,410
減価償却費	639	2,185
売上割引	1,924	1,734
その他	594	595
営業外費用合計	8,318	8,926
経常利益又は経常損失()	7,700	119,639
特別利益		
投資有価証券売却益	1,660	-
貸倒引当金戻入額	3,518	-
特別利益合計	5,179	-
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,162	-
固定資産除却損	-	1
会員権評価損	-	1,555
特別損失合計	14,162	1,557
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	16,683	118,082
法人税等	6,320	59,902
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	23,004	58,180
少数株主利益	-	203
四半期純利益又は四半期純損失()	23,004	57,977

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	23,004	58,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,636	24,190
その他の包括利益合計	40,636	24,190
四半期包括利益	63,640	33,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,640	33,724
少数株主に係る四半期包括利益	-	265

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

項目	当第1四半期連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
債務保証 次の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。 菊水化工(上海)有限公司 16,480千円	債務保証 次の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。 菊水化工(上海)有限公司 15,577千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費 79,536千円 のれんの償却額 2,799千円	減価償却費 53,179千円 のれんの償却額 2,856千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	52,434	5	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	62,909	6	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
 株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	材売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,300,376	186,189	3,486,565	3,486,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	3,300,376	186,189	3,486,565	3,486,565
セグメント利益又は損失()	28,299	13,426	14,872	14,872

(注) 報告セグメントの利益又は損失()の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失の金額は一致しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	材売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,041,734	183,754	4,225,488	4,225,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	4,041,734	183,754	4,225,488	4,225,488
セグメント利益又は損失()	137,020	25,353	111,667	111,667

(注) 報告セグメントの利益又は損失()の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	2円19銭	5円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失() (千円)	23,004	57,977
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四 半期純損失金額() (千円)	23,004	57,977
普通株式の期中平均株式数 (千株)	10,486	10,484

(注) 1 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純損失金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月 8日

菊水化学工業株式会社
取締役会 御中

仰 星 監 査 法 人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 柴 田 和 範

代表社員
業務執行社員 公認会計士 寺 本 悟

代表社員
業務執行社員 公認会計士 浅 野 佳 史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている菊水化学工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、菊水化学工業株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。